

でも、支えてきた自動車の
来期見通しは同28・4と、
(杉浦文夫)

卸売業	▲ 53.8	▲ 40.7	+9.9~ +5.0	
小売業	▲ 20.0	▲ 17.9	+4.9~ ▲ 4.9	
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 5.0~ ▲ 9.9	
サービス業	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 10.0以上	

（月市内45）（社）
対象に行つた景況調
査。景気が上向きか下
向きかを示すDI値
は、マイナス26.3（前
年同期に比べ、良い9.
6%、同じ54.3%。悪
い36.0%で、良いから
悪いを引いた値）。過去
5年間で最低に。第2
四半期（7～9月）予想
もマイナス28.4（良い
11.3%、同じ49.0%
悪い39.7%）と、見通
しも暗い状況に。
業種別にみると、建
設業を除いてすべて悪
化。その建設業も前期
は、建築基準法改正に
伴う建築確認申請の遅
れで完工高が減少し、
マイナス30.4の「土砂
降り」が、同確認申請遅
れが少しづつ回復して
いるだけで、官公庁需

検査委設置へ
し、事業費は約60億円
と推計する。風況調査
環境アセスなど順調に
いけば、10～11年ごろ
に工事着手したい考え
だ。
これらの動きに対し
て、市は「風況調査は

了承したが、建設につ
いては住民・議会の理
解が必要」と説明。今
後、庁内に検討委員会
を設置するするほか、
ガイドラインの作成な
ども検討していくとい
う。
(杉森秀房)

製造業では、鉄鋼関
連が堅調に推移してい
るが、他は原材料・原油
高騰が価格転嫁でき
ず、収益を圧迫。前期堅
調だった自動車関連も
一部で売上げが後退
傾向に。設備投資も慎
重になっている。経営
上の問題は、①原材
料価格の高騰（34.3
%）②需要の停滞（14.
8%）③単価の低下・上
昇難（12.3%）の順。
卸売業は、今回調査
で最も厳しい業況DI
値でマイナス53.8。
需要停滞に加え、為替
円高の影響による国産

転じてきているかでない
かの二極化で、採算が
左右（同商議所され
ており、来期見通しの
若干の回復は、販売価
格の転嫁の動きとみら
れる。
運輸業も、今期及び
来期見通しともにマイ
ナス50.0で「土砂降
り」状態。燃料価格の高
騰が運送単価へ転嫁で
きずに収益を圧迫。歯
止めのかからない原油
価格高騰に先行き不安
は続く。
同商議所総務企画部
では、今回の調査で各
業種企業から寄せられ
たコメントの多くは、
「原油や原材料の大幅
な高騰」が最大の不安

19日から
県はこのほど、稲垣
隆司副知事と井上雅彦
業労働部観光コンベン
ション課長が19日から
24日まで6日間、スベ
インを訪問する、と発
表した。
渡航目的は、スベ
インのサラゴサ市で開催
される2008年サラ
ゴサ国際博覧会のジャ
パンデー公式式典（21
日）や催事、公式レセ
プションへ参加するほ
か、財団法人地球産業
文化研究会主催の「愛
・地球博成果継承「市
民参加」出展事業」に
おけるメッセージの発
信、サラゴサ市長との

球産業文
国際シン
席、博覧
21日はジ
式式典、
セブシヨ
論壇国際
出席。22
市長との
地球博成
参加」出
けるメッ
をする。
ド発、フ
經由で24

夢心地誘う竹灯籠

豊橋の廣福寺で納涼会

豊橋市石巻本町の廣
福寺で12日夜、納涼会
が開かれた。境内には
約500個の竹灯籠
(とうろう)が並び、
ろうそくの淡い炎が夏
の一夜を彩った。
午後7時すぎに炎が
次々と灯されると、境
内は幻想的な雰囲気
に。来場者を夢心地の
世界に誘った。またミ
ニ縁日や寄席も行われ
た。
(竹下貴信)

る3根の級波松は作
と0の根の地も作
始1約と0は約と0羽根
ぐら



境内を照らす竹灯籠—廣福寺で

きょうの天気 7月13日(日)

◆仏滅◆

北設楽地区

降水確率 30%
最高気温予想31℃

新城地区

降水確率 30%
最高気温予想33℃

蒲郡地区

降水確率 30%
最高気温予想32℃

豊橋・豊川地区

降水確率 30%
最高気温予想31℃

田原地区

降水確率 30%
最高気温予想32℃

解説 昼すぎまでは晴れて厳しい寒さ
だが、夕方からは大気の状態が不安定と
なり、所々でびわか雨となる。

宇連ダム

水量 2829万4000ト 貯水率 99.4%
最大貯水量 2842万ト

おいしさ1本
まごころいっぱい